

平成17年度

富岡市バランスシート

富岡市役所企画部財政課

バ ラ ン シ ャ ー ト

(単位:千円)

借 方				貸 方			
[資産の部]	平成17年度末	平成16年度末	増 減	[負債の部]	平成17年度末	平成16年度末	増 減
1.有形固定資産	60,335,923	59,649,263	686,660	1. 固定負債	19,689,765	20,477,322	787,557
(1)総務費	3,595,939	3,504,812	91,127	(1)地方債	16,055,023	17,225,017	1,169,994
(2)民生費	2,814,174	2,788,075	26,099	(2)債務負担行為	0	0	0
(3)衛生費	6,811,536	6,976,624	165,088	(3)退職給与引当金	3,634,742	3,252,305	382,437
(4)労働費	482,663	510,099	27,436	2. 流動負債	2,153,794	2,117,403	36,391
(5)農林水産業費	5,559,762	6,039,760	479,998	(1)翌年度償還予定額	2,153,794	2,117,403	36,391
(6)商工費	745,883	792,018	46,135	(2)翌年度繰上充用金	0	0	0
(7)土木費	23,473,946	23,633,360	159,414	負債合計	21,843,559	22,594,725	751,166
(8)消防費	318,058	343,926	25,868				
(9)教育費	16,495,949	15,017,462	1,478,487				
(10)その他	38,013	43,127	5,114				
2. 投資等	10,228,333	10,250,883	22,550				
(1)投資及び出資金	6,251,431	6,080,038	171,393				
(2)貸付金	195,400	245,781	50,381				
(3)基金	3,781,502	3,925,064	143,562				
3. 流動資産	3,340,013	4,376,953	1,036,940				
(1)現金・預金	2,650,790	3,579,737	928,947				
財政調整基金	1,484,523	2,655,519	1,170,996				
減債基金	220,301	350,234	129,933				
歳計現金	945,966	573,984	371,982				
(2)未収金	689,223	797,216	107,993				
地方税	675,808	745,160	69,352				
その他	13,415	52,056	38,641				
				[正味資産の部]	平成17年度末	平成16年度末	増 減
				1. 国庫支出金	8,088,930	6,880,730	1,208,200
				2. 都道府県支出金	4,598,078	4,641,446	43,368
				3. 一般財源等	39,373,702	40,160,198	786,496
				正味資産合計	52,060,710	51,682,374	378,336
資産合計	73,904,269	74,277,099	372,830	負債・正味資産合計	73,904,269	74,277,099	372,830

債務負担行為に関する情報

物件の購入等

189,235

14,156 千円

債務保証及び損失補償

1,634,256

519,169 千円

利子補給等に係るもの

194,744

356,836 千円

平成17年度 バランスシート

(平成18年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方	貸 方
[資産の部]	[負債の部]
1. 有形固定資産	1. 固定負債
(1)総務費 3,595,939	(1)地方債 16,055,023
(2)民生費 2,814,174	(2)債務負担行為
(3)衛生費 6,811,536	物件の購入等 0
(4)労働費 482,663	債務保証又は損失補償 0
(5)農林水産業費 5,559,762	債務負担行為計 0
(6)商工費 745,883	(3)退職給与引当金 3,634,742
(7)土木費 23,473,946	固定負債合計 19,689,765
(8)消防費 318,058	
(9)教育費 16,495,949	2. 流動負債
(10)その他 38,013	(1)翌年度償還予定額 2,153,794
計 60,335,923	(2)翌年度繰上充用金 0
(うち土地 18,064,337)	流動負債合計 2,153,794
有形固定資産合計 60,335,923	負債合計 21,843,559
2. 投資等	[正味資産の部]
(1)投資及び出資金 6,251,431	1. 国庫支出金 8,088,930
(2)貸付金 195,400	2. 都道府県支出金 4,598,078
(3)基金	3. 一般財源等 39,373,702
特定目的基金 2,516,468	正味資産合計 52,060,710
土地開発基金 1,261,034	
定額運用基金 4,000	
基金計 3,781,502	
投資合計 10,228,333	
3. 流動資産	
(1)現金・預金	
財政調整基金 1,484,523	
減債基金 220,301	
歳計現金 945,966	
現金・預金計 2,650,790	
(2)未収金	
地方税 675,808	
その他 13,415	
未収金計 689,223	
流動資産合計 3,340,013	
資産合計 73,904,269	負債・正味資産合計 73,904,269

債務負担行為に関する情報

物件の購入等

189,235 千円

債務保証及び損失補償

1,634,256 千円

利子補給等に係るもの

194,744 千円

富岡市の資産や負債はどれくらい？

………バランスシート&行政コスト計算書

富岡市の財政状況を市民に分かりやすく説明するための一助として、資産や負債の状況を取り入れたバランスシートと、一年間の行政サービスに要した費用を明らかにする行政コスト計算書を作成し、公表します。

今回は合併があり、旧市町と新市の決算は分かれています。これらを統合して計算しました。それでは、平成 17 年度のバランスシートと行政コスト計算書がどのようなものなのか、その概略を紹介します。

バランスシートって何のこと？

バランスシート（貸借対照表）とは、一定の時点において保有するすべての資産、負債等の財政状態を総括的に表した報告書です。自治体のバランスシートの構造は、年度末における市の資産（市民の財産）、負債（将来の世代の負担分）、更にこれらの差額である正味資産（今までの世代による負担部分）から構成されています。民間企業のバランスシートと異なり、「資本」という考えがありません。

なお、このバランスシートは、総務省が示した指針に準拠して市のバランスシートを作成しております。

富岡市バランスシート

【資産の部】

資産総額は、739 億円（市民一人当たり 136 万円）

資産とは、将来にわたり公共サービスを提供できる価値、すなわち次の世代が受けることのできるサービスです。

1 有形固定資産

総資産のうち、約 80%（603 億円）を占めるのが「有形固定資産」です。

有形固定資産は、富岡市がこれまでに整備してきた道路、公園、学校、体育文化施設などの土地、建物、設備等です。

「決算統計」が現在の様式となった昭和 44 年度以降に支出した普通建設事業の合計額を取得価格とみなして表示しています。有形固定資産の減価償却は、用途別に設定された耐用年数に基づき、残存価格を「0」とする定額法により計算しています。

有形固定資産の取得価格、減価償却累計額、残存価格（バランスシート計上額）は次のとおりです。

有形固定資産明細表

(単位：千円)

		取得価額 A	減価償却累計額 B	残存価額 A - B
総	務費	4,653,374	1,057,435	3,595,939
	庁舎等	1,119,273	342,119	777,154
	その他	3,534,101	715,316	2,818,785
民	生費	4,695,028	1,880,854	2,814,174
	保育所	637,274	292,199	345,075
	その他	4,057,754	1,588,655	2,469,099
衛	生費	11,312,206	4,500,670	6,811,536
	清掃費	8,253,450	3,517,562	4,735,888
	ごみ処理	7,811,689	3,403,383	4,408,306
	し尿処理	58,244	51,055	7,189
	その他	383,517	63,124	320,393
	環境衛生費	2,432,292	662,562	1,769,730
	その他	626,464	320,546	305,918
労	働費	1,010,389	527,726	482,663
農	林水産業費	19,930,370	14,370,608	5,559,762
	造林	88,219	68,337	19,882
	林道	2,906,680	2,191,800	714,880
	治山	6,167	3,922	2,245
	砂防	2,625	1,394	1,231
	漁業	0	0	0
	農業農村整備	14,863,639	10,494,755	4,368,884
	海岸保全	0	0	0
	その他	2,063,040	1,610,400	452,640
商	工費	1,364,780	618,897	745,883
	国立公園等	0	0	0
	観光	1,280,231	569,271	710,960
	その他	84,549	49,626	34,923
土	木費	44,291,343	20,817,397	23,473,946
	道路	22,411,592	14,485,422	7,926,170
	橋りょう	1,000,706	212,644	788,062
	河川	184,359	48,709	135,650
	砂防	0	0	0
	海岸保全	0	0	0
	港湾	0	0	0
	都市計画	16,796,143	4,326,019	12,470,124
	街路	2,418,270	492,245	1,926,025
	都市下水	248,275	243,784	4,491
	区画整理	3,632,530	547,401	3,085,129
	都市公園	10,341,144	290,523	10,050,621
	その他	155,924	137,066	18,858
	住宅	3,895,394	1,743,290	2,152,104
	空港	0	0	0
	その他	3,149	1,313	1,836
消	防費	1,536,039	1,217,981	318,058
	庁舎	0	0	0
	その他	1,536,039	1,217,981	318,058
教	育費	24,568,652	8,072,704	16,495,948
	小学校	7,737,530	3,281,024	4,456,506
	中学校	5,382,642	1,775,838	3,606,804
	高等学校	0	0	0
	幼稚園	276,735	49,183	227,552
	特殊学級	0	0	0
	大種学級	0	0	0
	各種学級	2,986	776	2,210
	社会教育	9,614,527	2,405,652	7,208,875
	その他	1,554,233	560,231	994,002
そ	の	153,479	115,466	38,013
合	計	113,515,661	53,179,738	60,335,923

また、土地の内訳は次のとおりです。

土地明細表

(単位：千円)

	取得価額
道路橋りょう	4,830,967
街路	1,692,257
公営住宅	313,002
小学校	444,922
中学校	803,261
その他	9,979,928
合計	18,064,337

2 投資等

投資等は、市が活動を行う上で必要な団体への出資金などや特定の目的のために積立している基金で、平成 17 年度末で約 102 億円です。

(1) 投資及び出資金

財団法人や社団法人等への出資残高です。

平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

群馬県農業信用基金協会出資金	5,170 千円
群馬県信用保証協会出えん金	79,835
群馬県労働者信用基金協会出えん金	3,303
富岡市土地開発公社出資金	5,000
富岡市水道事業会計出資金	1,452,457
富岡市ガス事業会計出資金	9,774
群馬県農業後継者育成基金出資金	4,193
群馬県スポーツ振興事業団出えん金	2,517
富岡地域医療事務組合出資金	4,614,456
群馬県農業後継者育成基金出えん金	3,773
森林組合作業班員等雇用安定基金出えん金	1,090
群馬県長寿会づくり財団出えん金	1,910
群馬県産業支援機構出えん金	1,524
群馬県養蚕振興基金出えん金	14,272
群馬県消防協会出えん金	5,123
群馬県下水道公社出えん金	1,000
群馬県立自然史博物館財団設立出えん金	40,000
その他(11件)	6,034
合計	6,251,431

(2) 貸付金

富岡市が第三者に貸付を行っている金額です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

住宅新築資金等貸付事業貸付金	42,900 千円
「ココン」老人保健施設建設事業資金貸付金	40,000
「東京カリン」工場建設事業資金貸付金	112,500
合計	195,400

(3) 基金

特定目的基金

福祉の充実や教育振興といった特定の目的のために、預金や有価証券で積み立てられている金額です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

ふるさと創生事業基金	345,292 千円
新庁舎建設基金	821,808
福祉事業基金	490,036
交通遺児及び労働災害遺児等奨学助成基金	10,007
金庭秀松老人福祉基金	62,680
都市計画事業基金	1,444
上信越自動車道富岡インターチェンジ周辺整備基金	3,679
金庭秀松文庫基金	54,000
国際交流基金	100,000
中山間地域活性化推進基金	20,000
職員退職手当基金	570,977
発明工夫のまちづくり推進基金	17,788
水源かん養基金	18,757
合 計	2,516,468

土地開発基金

土地開発のための基金です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

現金	465,578 千円
貸付金	438,951
土地	356,505
合 計	1,261,034

定額運用基金

定額の資金運用を目的とする基金です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

小口生活資金貸付基金	1,000 千円
妙義ふれあいプラザ用品調達基金	3000
合 計	4,000

3 流動資産

流動資産は将来の資金不足に備えるための「財政調整基金」、地方債の償還に備えるための「減債基金」や市税などの未収金などで、平成 17 年度末で約 33 億円です。

(1) 現金・預金

財政調整基金

将来の資金不足に備えて、預金や国債等により保有している積立金です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

預金	1,484,523 千円
----	--------------

減債基金

公債費対策のための積立金です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

預金	220,301 千円
----	------------

歳計現金

平成 17 年度歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額(黒字)を計上しています。

預金	945,966 千円
----	------------

(2) 未収金

地方税

年度末までに回収できなかった税金です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

市民税	150,941 千円
固定資産税	353,428
軽自動車税	8,035
特別土地保有税	128,726
都市計画税	34,678
合 計	675,808

その他

年度末までに回収できなかった分担金、負担金、使用料等です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

分担金及び負担金	2,297 千円
使用料及び手数料	7,549
国庫支出金	0
県支出金	0
諸収入(都市計画道路整備受託事業収入など)	3,569
市債	0
合 計	13,415

【負債の部】

負債総額は、218 億円(市民 1 人当たり 40 万円)

1 固定負債

負債とは、将来返済すべき債務であり、次の世代が負担する借金です。

(1) 地方債

富岡市が発行した地方債のうち、平成 19 年 4 月 1 日以降に返済が予定されている金額です。平成 17 年度末現在の内訳は次のとおりです。

財政融資資金	8,721,773 千円
総務省郵便貯金資金	436,118
総務省簡易生命保険	2,303,598
公営企業金融公庫	2,606,021
群馬銀行	381,800
かんら信用金庫	2,839,726
甘楽富岡農業協同組合	158,226
市町村振興協会	135,620
群馬県	388,475
群馬県信用組合	237,460
控除:一年以内に返済期限の到来する額	-2,153,794
差引:バランスシート計上額	16,055,023

なお、平成 18 年度以降、5 年間の各年度別返済予定額及び返済後の残高は次のとおりです。

	返済予定額	返済後残高
平成18年度	2,153,794 千円	16,055,023 千円
平成19年度	2,058,809	13,996,214
平成20年度	1,765,617	12,230,597
平成21年度	1,705,047	10,525,550
平成22年度	1,583,967	8,941,583

(2) 退職給与引当金

年度末に在籍している職員が全員退職すると仮定した場合に支払う退職手当の金額です。ここでは、個々に計算せずに、簡易に「平均経験年数」に「平均給料」及び「支給率」を乗じ、更に「職員数」を乗じて求めております。

2 流動負債

流動負債は、平成 18 年度中に返済の必要のある地方債の元金です。

負債のうち、地方債が固定負債、流動負債と合わせて、約 182 億円で負債全体の 83%を占めています。道路、学校、市営住宅などの公共施設を整備する場合は、多額の経費が必要となります。このため、現金で一度に支払いができないものは、地方債を発行することになります。

【正味資産の部】

正味資産総額は、520 億円（市民 1 人当たり 96 万円）

正味資産とは、資産と負債の差額であり、市民の皆さんからいただいた税金や国・県からの補助金で、将来の返済を要しないもので、今までの富岡市の資産形成の純額を表します。

1 国庫支出金

富岡市が現在保有している資産のうち、国の支出により形成されたものの金額です。

2 都道府県支出金

富岡市が現在保有している資産のうち、県の支出により形成されたものの金額です。

3 一般財源等

富岡市が現在保有している資産のうち、今まで富岡市民からいただいた税金等により形成されたものの金額です。

バランスシートで何が分かるの？

.....バランスシートを活用した財務分析

バランスシートを分析することにより、資産の構成や、将来返済しなければならない負債と返済を要しない正味資産の比率等のストックに関する情報が明らかになります。

また、バランスシートを年度を追って推移を見たり、他の地方公共団体と比較したりすることにより、財政状況の特徴や財政運営の傾向を分析することができます。

(1) 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本の整備の結果を示す有形固定資産のうち、正味資産によって形成されている比率です。正味資産は、主に今までの世代の負担により形成された社会資本の額をさしていることから、この比率はこれまでの世代によって既に納付された税金等により社会資本が形成された割合を示すものです。この比率が高いほど、将来世代への分が少なく健全であるといえます。

富岡市の場合、社会資本負担比率は、17年度は、85.0%で、対前年度比較2.5ポイント低下しております。

＜社会資本形成の世代間負担比率＞

項 目	平成18年3月	平成17年3月	平成16年3月	平成15年3月
有形固定資産残高 (a)	60,335,923 <small>千円</small>	50,416,154 <small>千円</small>	51,650,712 <small>千円</small>	52,990,720 <small>千円</small>
正味資産合計 (b)	51,263,038 <small>千円</small>	44,137,697 <small>千円</small>	44,547,249 <small>千円</small>	45,146,100 <small>千円</small>
社会資本負担比率 (b/a)	85.0 %	87.5 %	86.2 %	85.2 %

(2) 予算額対資産比率

バランスシートの資産合計は富岡市の社会資本の総額を表しますが、この比率は資産合計が富岡市の収入合計の何年分に該当するかを表したものです。この比率が高いほど、既に社会資本整備ができていると考えられます。

富岡市の場合、予算額対資産比率は、17年度は、3.40年で、対前年度比較では0.69ポイント低下しております。

項 目	平成18年3月	平成17年3月	平成16年3月	平成15年3月
歳入合計 (a)	20,886,368 <small>千円</small>	15,539,725 <small>千円</small>	15,779,787 <small>千円</small>	16,789,266 <small>千円</small>
資産合計 (b)	71,015,283 <small>千円</small>	63,514,309 <small>千円</small>	64,820,238 <small>千円</small>	66,019,248 <small>千円</small>
予算額対資産比率 (b/a)	3.40 年	4.09 年	4.11 年	3.93 年

(3) 有形固定資産の行政目的別割合

有形固定資産の行政目的別割合を見ることにより、行政分野ごとの資産形成の比重を把握することができます。この割合を見ることによって、これまでの富岡市の社会資本形成がどこに重点をおいていたのかが明確になります。

< 有形固定資産の行政目的別割合 >

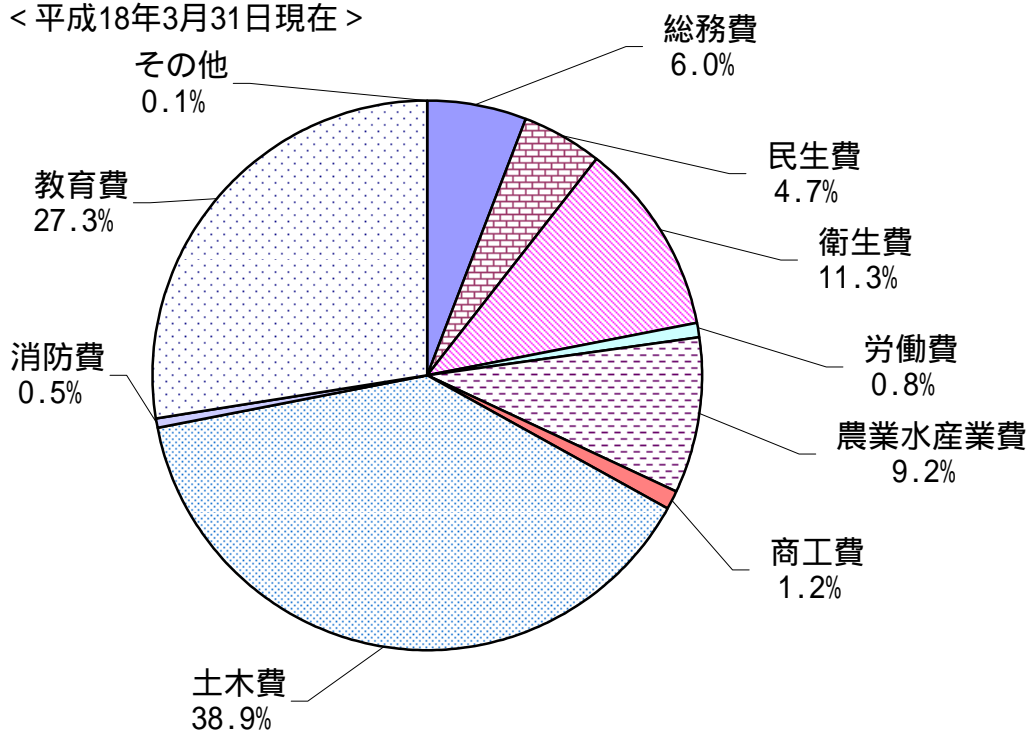
(単位：千円)

項目	平成18年3月		平成17年3月		平成16年3月	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
総務費	3,595,939	6.0%	3,113,288	5.2%	3,080,900	5.1%
民生費	2,814,174	4.7%	1,830,109	3.0%	1,912,819	3.2%
衛生費	6,811,536	11.3%	6,243,889	10.3%	6,503,206	10.8%
労働費	482,663	0.8%	440,589	0.7%	463,202	0.8%
農業水産業費	5,559,762	9.2%	4,680,167	7.8%	5,063,448	8.4%
商工費	745,883	1.2%	725,129	1.2%	766,960	1.3%
土木費	23,473,946	38.9%	20,225,854	33.5%	20,508,150	34.0%
消防費	318,058	0.5%	246,110	0.4%	247,667	0.4%
教育費	16,495,949	27.3%	12,870,823	21.3%	13,059,312	21.6%
その他	38,013	0.1%	40,196	0.1%	45,048	0.1%
有形固定資産合計	60,335,923	100.0%	50,416,154	83.6%	51,650,712	85.6%

土木費が38.9%を占め、際立った高い比率を占めおります。次いで教育費が27.3%を占め、小・中学校等の整備事業費が高い割合を占めています。

富岡市の場合、従来から土木関係及び教育関係に対して、重点的に資産形成を行ってきたということが読みとれます。

< 平成18年3月31日現在 >



(4) 住民一人当たりのバランスシート

(平成18年3月31日現在、人口:54,382人)

勘定科目 [資産の部]	一人当たり金額 (円)	勘定科目 [負債の部]	一人当たり金額 (円)
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	66,124	(1) 地方債	295,227
(2) 民生費	51,748	(2) 債務負担行為	
(3) 衛生費	125,254	物件の購入等	0
(4) 労働費	8,875	債務保証又は損失補償	0
(5) 農業水産業費	102,235	(3) 退職給与引当金	66,837
(6) 商工費	13,716		
(7) 土木費	431,649		
(8) 消防費	5,849		
(9) 教育費	303,335		
(10) その他	699		
有形固定資産合計	1,109,483	固定負債合計	362,064
2. 投資等		2. 流動負債	
(1) 投資及び出資金	114,954	(1) 翌年度償還予定額	39,605
(2) 貸付金	3,593	(2) 翌年度繰上充用金	0
(3) 基金		流動負債合計	39,605
特定目的基金	46,274		
土地開発基金	23,188		
定額運用基金	74		
基金計	69,536		
投資合計	188,083	負債合計	401,669
3. 流動資産		[正味資産の部]	
(1) 現金・預金		1. 国庫支出金	148,743
財政調整基金	27,298	2. 都道府県支出金	84,551
減債基金	4,051	3. 一般財源等	724,021
歳計現金	17,395		
現金・預金計	48,744		
(2) 未収金			
地方税	12,427		
その他	247		
未収金計	12,674		
流動資産合計	61,418	正味資産合計	957,315
資産合計	1,358,984	負債正味資産合計	1,358,984

富岡市の住民一人当たりの資産は1,358,984円、負債は401,669円、資産から負債を差し引いた正味資産は957,315円になりました。

通常のバランスシートでは、自治体の人口規模等により単純には比較出来ませんが、バランスシートの各項目の数値を住民一人当たりで算出することにより、自治体間の単純な比較が出来ます。

住民一人当たりのバランスシート

住民一人当たりの将来的な財政負担を計算しました。

一人当たりの将来の負担額 = ((地方債残高 + 債務負担行為)

- (財政調整基金 + 減債基金 + 歳計現金)) / 人口 = 246 千円

平成17年度末では、一人当たりの将来の負担額は246千円ということになります。(平成16年度末では240千円)

住民一人当たりの社会資本形成を計算しました。

一人当たりの社会資本形成 = 有形固定資産合計 / 人口 = 1,109 千円

平成 17 年度末で一人当たり 1,109 千円となります。(平成 16 年度末では 1,015 千円)

(5) 企業財務分析指標を用いた分析

正味資産構成比率、流動比率、固定比率について、分析しました。

正味資産構成比率

企業の財務分析において、財務の安定化を計る指標として注目される「自己資本比率」について、「正味資産構成比率」の名称で算出しました。これは富岡市にストックされた総資本のうち、返済義務を負わない資金がどのくらいの割合であるかを見るものです。

正味資産構成比率 = 正味資産 ÷ 総資産 × 100 = 70.4 %

正味資産には、純粋に市自前の資金である一般財源のほか、国及び県からの補助金等が含まれていることに留意が必要です。

この正味資産比率は、高い比率ほど財政状態が健全であるといえます。

(平成 16 年度末が 69.5%ですから若干低下していることがわかります)

流動比率

企業において資金繰りの安定性を計る指標として「流動比率」があります。これは短期の負債(流動負債)に対して、現金などの手元の資金(流動資産)がどのくらいあるかを見るものです。地方公共団体の場合では、翌年度の地方債の償還及び債務負担の支払額に対し、どのくらいの現金や換金可能な基金が用意されているかというものです。

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 = 155.1 %

(平成 16 年度末が 189.0%ですから低下していることがわかります)

富岡市においては、今後の事業展開を考慮すると流動負債に対して流動資産が少ないのが問題であると考えます。つまり、換金可能な基金等の資金を取り崩さないような長期の資金計画(財政運営)が必要であります。

固定比率

固定比率は、「有形固定資産に対し、将来に返済義務を負わない資金をどのくらい充当したか」の割合を見るもので

固定比率 = 有形固定資産 ÷ 正味資産 × 100 = 115.9 %

正味資産が有形固定資産を上回っている場合は 100%を切ることとなり、低いほどこれまで建設されてきた資産に対する後世代の負担が少ないといえます。

富岡市では、16 年度で 114.2%ですので、若干負担増となっております。